

サミット株式会社 川崎塩浜プロセスセンター

1. 事業場概要

- (1) 所在地：神奈川県川崎市川崎区塩浜 2-12-21
- (2) 業種：食料品製造業
- (3) 従業員数：168名

2. 安全衛生基本方針（令和4年度）

- (1) 安全衛生活動の推進を図るために、管理体制を明確にし、社員が笑顔で働きやすい職場環境を整えることに努めます。
- (2) すべての社員に対し、安全衛生確保に必要なかつ十分な教育をし、一人ひとりの安全に対する意識を高めていきます。
- (3) 上記の実行に当たっては適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

3. 安全衛生活動

- (1) 安全保護手袋の着用徹底
- (2) 転倒・転落・激突予防対策の実施（声掛け、注意喚起）
- (3) 手洗い・消毒の徹底
- (4) 新規入場者に対し、雇入れ時の安全衛生教育を徹底する。
- (5) 新型コロナウイルス感染防止策の徹底（定期抗原検査の継続等）

4. 転倒防止対策

別紙 1-1 乃至 1-3 のとおり。

5. 今後の課題

- (1) 気持ちが焦ると作業場を小走りになっている社員を見受けることから、如何に気持ちが焦ろうとも走らないように徹底すること。
- (2) 靴底は減ってないが、ゴムが固く滑りやすくなっているものがあるため、今後は靴底チェックの際にゴムの硬さも確認すること。
- (3) 掲示物の劣化による注意喚起効果の低下を防ぎ、社員の意識が低下しないようにすること。
- (4) 商品を載せた台車の移動を妨げない、作業場床に貼付できる滑り止めシート等を導入すること。

1. 転倒防止対策

(1) ハザードマップ（作業場内の滑りやすい場所）の掲示

ハザードマップの注意箇所に「転倒災害防止」の掲示物を貼付し、従業員に注意を促している。また、各ラインミーティングでこの内容を周知している。

※従業員の約95%が外国人のため日本語・英語・ベトナム語で作成している。



【改善後の現場の声】

- ・ 作業場内のどこが滑りやすいか一目でわかり、現場にも注意書きのポスターが貼ってあるので気を付けるようになった。
- ・ ポスターが日本語だけでなく英語でも書いてあるので内容が理解できて良い。

(2) 「転倒災害防止」の掲示

作業場の入口、身だしなみチェックの鏡の横に「転倒災害防止」を掲示。

＜改善前＞



＜改善後＞

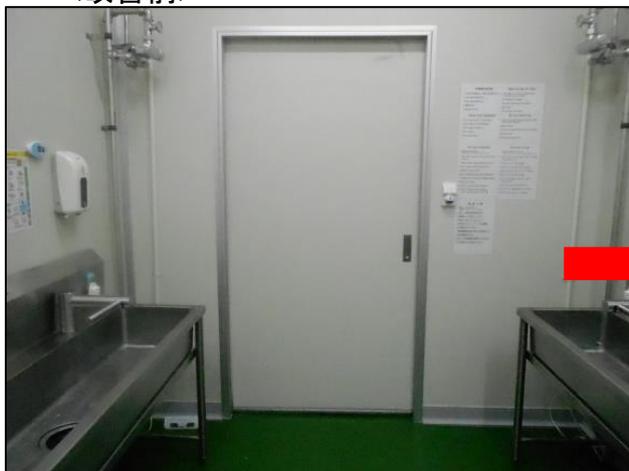


【改善後の現場の声】

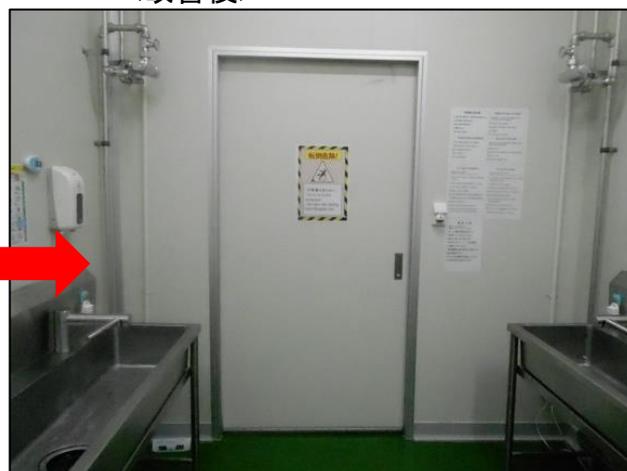
- ・身だしなみチェックをする鏡、作業場の入口にポスターが貼ってあるので作業場に入る際、再度転倒を意識することができる。

流し台に近接する扉に「転倒災害防止」を掲示。

〈改善前〉



〈改善後〉



(3) 靴底チェック

靴底が見える什器を使い、靴の溝が十分に残っているかを確認している。
溝が減り、靴のスリップサインが出ていたら対象の従業員の靴を交換している。



【改善後の現場の声】

- ・以前は自分で確認をしていたが、確認を忘れることが多いため、社員に確認してもらるのはありがたい。
- ・以前は靴底がすり減っている状態で作業をしていたが、靴を取るときに靴底を確認できるので助かる。

〈改善後の効果〉

- ・正社員も靴底を確認するが、パートタイム社員自ら靴の交換を申し出てくることが多くなった（靴底確認後、交換）。

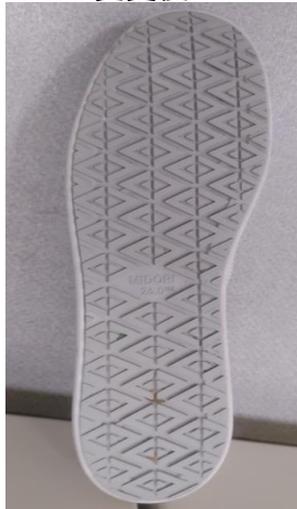
(4) 靴の変更

より滑らない靴底の靴に随時変更している。

〈変更前〉



〈変更後〉



【改善後の現場の声】

- ・以前の靴と比べると滑りにくいので安心して作業ができる。

(5) 労働災害防止（転倒災害含む）のための準備体操実施

3分間程度の体操をすることで、体をほぐし、労働災害を防止している。毎朝全員で実施するので習慣になり、体操をした際に当日の体調が把握できるため無理なく作業ができるようになった。



【改善後の現場の声】

- ・毎朝全員で実施するので習慣になり、体操をした際に当日の体調を把握できるため無理なく作業ができるようになった。

以上